

観 点	発行者 17・教出	27・教芸
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 目標の達成を目指す器楽の学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造とのかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色や強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法やパートの役割を考え、全体の響きを確かめながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する活動</li> </ul>
	<p>○ 【共通事項】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、音色と奏法とのかかわりを理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする</li> </ul>
	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応する学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動</li> </ul>
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、新しい音の運指やいろいろな奏法を身に付けて表現する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、練習や演奏のポイント等を参考に表現する活動</li> </ul>
	<p>○ 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>99ページ（前回と同様）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>107ページ（20%増）</li> </ul>
使用上の配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸民族の楽器や箏と篠笛の家元からのメッセージを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な打楽器の奏法やピアノ奏者からのメッセージを掲載</li> </ul>
	<p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しによるヒントの提示</li> <li>「何が同じで、何が違う？」のコーナーで、吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しによるヒントの提示</li> <li>和楽器奏者からのメッセージにより、楽器の特徴を理解する活動を掲載</li> </ul>
	<p>○ 使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配色やレイアウトの配慮</li> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白を基調とした紙面で、情報の配置を配慮</li> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用する配慮</li> </ul>
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弾く楽器の文化や伝統について調べるコーナーの中で、樺太アイヌや宗谷のアイヌの楽器である「トンコリ」が取り扱われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>篠笛を使った各地に伝わる郷土の祭りや芸能の紹介で、江差町の「五勝手鹿子舞」が取り扱われている</li> </ul>
	<p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭にQRコードを掲載し、ウェブサイト「まなびリンク」から各楽器の奏法や範奏の動画や音源などが多数掲載され、学習場面で活用できるよう工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要所にQRコードを掲載し、ウェブサイトから音源などを視聴したり各演奏家のプロフィールなどを調べたりすることができるよう工夫がなされている</li> </ul>

観 点 発行者	17・教出	27・教芸
指導上の配慮等	<p>○ <b>小中連携した指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの共通点や相違点について運指と音を比較するなどして理解を促す配慮がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの共通点や相違点について運指と音を比較するなどして理解を促す配慮がなされている</li> </ul>
本市生徒の学習の状況等	<p>○ <b>音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫する力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器を使って旋律を組み合わせる創作の活動が設定されている</li> <li>・「カノン」(3パターン)を掲載し、リコーダーで音を重ねるよさを感じ取ることができるよう設定されている</li> </ul> <p>○ <b>曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現する力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各楽器の歴史や演奏形態についての分かりやすい説明、写真や囲みの活用による楽器の奏法や楽曲の演奏上の注意点の提示など、楽器の歴史や文化、特徴などの理解を促す工夫がなされている</li> </ul>	<p>○ <b>音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫する力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律楽器と打楽器や手拍子を組み合わせるなど、様々な編成による合奏曲が設定されている</li> <li>・「カノン」(2パターン)を掲載し、リコーダーで音を重ねるよさを感じ取ることができるよう設定されている</li> </ul> <p>○ <b>曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現する力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー演奏のポイントを示したQ&amp;Aの掲載、写真や囲みの活用による楽器の奏法や楽曲の演奏上の注意点の提示など、楽器の歴史や文化、特徴などの理解を促す工夫がなされている</li> </ul>
その他		